

## 沖縄県公安委員会定例会会議録（令和7年10月9日）

### 1 主な報告等

#### (1) 初任科短期課程第67期卒業式の挙行について

委員から、入校生40人全員がそろって卒業したことは大変素晴らしい。晴れて警察官としての第一歩を踏み出すことになるが、一人前の仕事ができるようになるには、地道な努力を続けることが必要だと思う。いつまでも警察官としての愚直さを忘れないでほしい。委員長として卒業式に参加したが、式典には無駄がなく、引き締まって背筋が伸びる思いがした。その日の午後には警察署に配属されると聞いたが、魅力ある職場として若い世代に興味を持ってもらうためには、住環境への配慮も必要だと思う。卒業後も、警察学校と警察署が連携して支援をしてほしい旨の発言があった。

#### (2) 令和7年秋の全国交通安全運動の実施結果について

委員から、県、県警、米軍及び自動車学校が連携して、米軍人を対象に初めて飲酒運転体験講習を行ったことはとても有意義だ。このような体験ができる人はほんの一握りしかいない。飲酒運転の怖さを身をもって実感し、インフルエンサーとなってその危険性を発信することにつながるだろう。国によって、交通ルールやマナーも違う。講習を行うメリットは大きいので、これからも継続して取り組んでほしい。糸満署では、署長、市長、町長等約80人が管内を駅伝方式でリレーしながら交通安全を呼びかけたと聞いたが、ちょうど那覇マラソンの練習をしている人も多い中であり、時宜を得たよい取組だと思う。昨年と比較して期間中の全国における飲酒絡みの人身事故が減っており、徐々に効果が現れているとも考えられる。今後とも工夫した取組により、交通事故の抑止に取り組んでもらいたい旨の発言があった。

#### (3) その他

警察本部から、この春採用された40人が、6か月の教養を終えて警察学校を卒業した。これからは配属先警察署で勤務することになるが、仕事のスキルを身につけるのはもちろんのこと、県民の安全と安心を確保することへの誇りと使命感を確たるものとするのも現場である。警察学校と警察署が連携を図りながら、しっかりと育成してまいりたい旨の発言があった。

### 2 主な決裁等

#### (1) 警務部

- ・ 公安委員会宛て苦情の受理について

#### (2) 地域部

- ・ W e b 版・マル優標示デザインの作成について

#### (3) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について